

OB会 だより

各地の四季
シリーズ・No.7



韓国・九龍浦 「龍が天国に昇った」伝説の街

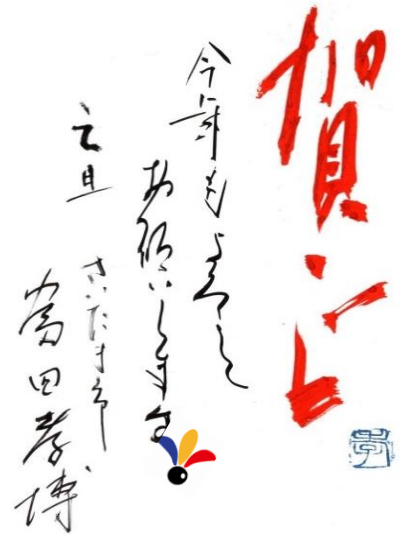
안녕하세요 (アンニョンハセヨ) こんにちは

韓国の東海岸にある浦項（ポハン）市の東部に位置する九龍浦（クリヨンポ）。日本の統治をうけた植民地時代、日本式家屋や街並みが次々と建てられたが、第2次世界大戦後 負の遺産とみなされ主なものは取り壊された。坂を上り詰めた所から見える浦項の港は、重い歴史とは違って広々ときれいだ。

九龍浦には、今年の干支である龍のオブジェが九頭あり、九龍浦伝説ともなっている。龍年の新年、韓国語教室の仲間と訪ねた旅を思い出している。

몸초시마세요 (モム チョシマセヨ) 身体を大事になさってください。

(海老塚 利明)



元日に能登半島を震度7の地震が襲い多くの被害が発生しています。

国政では岸田政権が大きく揺らいでいます。自民党の金権腐敗政治の真相を究明し政治の流れを変えていきましょう。ロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ・イスラエルは、テロと報復の連鎖を断ち、何よりも世界平和の道を探るべきです。

二月の総会では年間計画を決め、スタートします。仲間増やしや後継者問題も大切な課題です。皆が楽しみ、頼りになるOB会めざして、知恵を出し合ひましょう。皆さんにお会いできるのが楽しみです。寒い毎日です。どうぞお体を大切に。

90歳を超えた3人の会員さんから新年の一言をいただきました。

寺島 萬里子 (97歳)

九十七年 生きて迎えし 正月よ
地上にはまだ 戦(いくさ) 止まず
歩くこと 読むこと 書くこと まだ出来る
身の衰え 進みしゆくが
寺島 萬里子



小倉 婦美江 (95歳)

2月に95歳になります。

一人暮らしですが、そばにいる子どもや孫が毎日顔を出してくれるので、何とか元気に過ごしています。

皆さんもどうぞお元気で！

権田 圭助 (94歳)

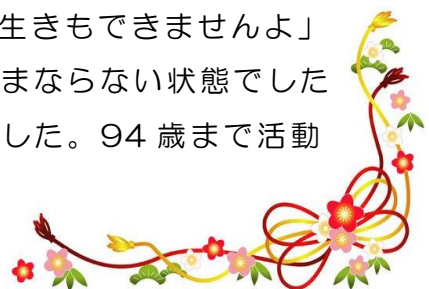
片肺飛行のたたかい

私は40代に、右の肺が腐る難病に苦しみました。そして右の肺を全部削除しました。

外科の医師に「権田さん 普通の人のような活動はできませんし、長生きもできませんよ」

と告げられてしまいました。確かに術後は歩く事もままならない状態でしたが、活動を続けるうちに、何とか動けるようになりました。94歳まで活動しています。この4月で95歳になります。

私は皆さんと一緒に活動できる喜びでいっぱいです。





岡部和子



西方加津代



斎藤幸一

2024

私の年賀



大久保直子



若杉 博



山本康男

笑顔あふれる一年でありますように



田添紀江（7枚の絵手紙）



よろしくお願ひします

たかはし まさみ
高橋 正巳さん

1978年に入職、川口診療所で勤務を開始し、その後協同病院、浦診、行田、熊谷、本部、大井、協同病院、本部と各事業所を経験しました。2023年3月に定年退職した後、法人の監事として働いています。この度、OB会に加入させていただくことになりました。よろしくお願ひします。（退職時の職場は本部事務局です）



私の近況・地域の様子で一す



蔵王の短い秋は終わり そして冬

浦川 恵子

今年初めての体験は、タマゴダケをみつけた事。散歩仲間はキノコにも詳しい。空き地が残る別荘地で、見つけてくれたものを収穫させてもらう。いちばん美味しいなと思うのは、オリミキ。正式にはナラタケで、よい香りがする。今年は大きな株に遭遇し、みんなで大興奮。味噌汁、バター炒めで楽しんだ。そして、卵のような殻を破って赤い姿を現すタマゴダケ。教えてもらって収穫した帰り道、我が家のごく近くでなんと1本発見。夫にも確認してもらって、バター炒めでおいしくいただいた。胡桃やカリン拾いも楽しんで、短い秋は終わる。蔵王は冬を迎えている。

ふれあい生協病院を受診しました

前田 文代

9時にタクシーでふれあい生協病院病院へ。急患も電話してから来院となり、診療時間は8時30分から11時。この時間で足りるのかなと思います。予約がほとんどのようです。放射線と生理検査、胸のx-pを撮り、10時予約で待っていると案内板から256番という表示がされ「7番診察室にお入りください」というアナウンス。医師は問診票に書いた体調変化等をカルテに入力して診察をして処方箋を出力し、次回予約日の確認をして終了です。看護師さんはどこにいるのかな？

会計も 256 で済ませた。以前は院内に薬を届けてもらったが、今度は院外薬局まで行き薬を頂いたのが 11 時。慣れればここが私のかかりつけ病院となりますように。

ワクチン接種をしながら診療

山形 文子



71 歳になり、毎日の仕事にも馬力がへってきました。
何とか発熱外来でワクチン接種をしながら診療しています。
さいわい診の 70 周年の記念誌の原稿依頼がありましたが、50 周年を皆で祝って翌年退職したこと、申し訳なく思っています。
民医連、医療生協は素晴らしいです！。

うたごえ喫茶 ともしび に

石丸 乾二

渋谷さんのグループにのって、11月25日うたごえ喫茶「ともしび」に。
昨年の11月に高田馬場に移転新装しての開店。
高田馬場駅から5分位、例によってリクエスト
曲をカードに書き、飲んで歌って・・・。
ハイボールをたのんで、ハッとして 帰宅して
から車の運転・・・しないよな と！
ひと
他人のリクエスト曲に2～3曲歌えないのがあ
っても気にしない・・・。 懐かしい「心さわぐ青春の歌」は56年ぶりのようだ。
あっという間の2時間、入り口で「アライバイ写真」(?)を撮って、私は山手線で、
渋谷さんのグループは西武新宿線で帰途に。



どんどん

怖いものなし となっていく予感

梅原 恭子

元気印の私でも一通り検査は実施している。
肝生検、心臓カテーテル検査、気管支鏡検査、胃内視鏡等。
その上大腸内視鏡もとうとうするハメに。老人健診で便潜
血陽性が2個のうち1個に。75歳以上は一泊入院との由。
どんどん、怖いものなしとなっていく予感。





前進座「あかんべえ」観劇

大久保 直子

今回の前進座観劇は、宮部みゆきさんの作品で「あかんべえ」。舞台化が難しいという時代ミステリーでした。

お化け5人の生い立ちに興味をひかれ、お化けと人間の関わりをどのように描くのか、ミステリータッチの話が舞台で展開。面白くもあり、悲しくもあり、最後にはほろり・・・。

いつの間にか不思議な体験をしたような気持ちになり、感動に包まれました。お化けでも人間でも誰かに支えられ、誰かを思いやることで生きていける、私達は一人ではないと。次世代を担う若い役者の頑張りが光っていました。

演劇も時代の流れの中、厳しく苦勞しながら活動しています。今回、OB会からの参加者は9名。一人でも多くの人に足を運んでほしいです。

生協歯科診療所・健康まつり

「健康川柳」で元気に

小川 祥江

医療生協大牧支部の「書サークル」は、歯科診療所を会場に教室を開催、待合室の掲示板に毎月作品を張り出し、患者さんにみていただいています。先生はOB会長の富田孝博先生（元毎日書道会友・現在は教範格）。

埼玉県平和美術展にはみんなそろって出展参加。健康まつりはお気に入りの健康川柳を作品に。みんなが共感・納得し、最後にクスッと笑って元気になりました。

日頃はお喋りでにぎやかな教室も、自宅での練習の成果が次々に並べられる日の教室は変身。先生も疲れ知らず時間を忘れてのご機嫌な指導です。歳を重ねてきた仲間たちの心の深さと広さ、いい仲間を支えられた教室です。



第34回埼玉民医連退職者の会総会 お逢いしましょう！

日時 2024年2月25日(日) 10時30分～15時
会場 医療生協さいたま本部・第一会議室（懇親会もありますよー）
参加費 2000円(食事代) 年会費(3000円)もお願いします

川口の二つの診療所が リニューアルオープン ★さいわい診療所 ★川口診療所

- ★ さいわい診療所は 39 年に及ぶ幸町時代の診療所から 1992 年中青木 4 丁目に移転新築、30 年を経た昨年、中青木 5 丁目に家庭医のいる診療所・家庭医を育てる診療所としてケアセンター「かがやき」とともに移転しました。
- ★ 川口診療所は 1986 年の竣工から 35 年、フル稼働した診療所から創立 70 周年の昨年 8 月、医療・介護・福祉が一体となった「家族まるごと・地域まるごと」の新しい診療所として生まれ変わりました。

さいわい診療所

医療と介護が一体管理できる 家庭医のいる診療所

松倉 徳子

2022 年 1 月にさいわい診療所とケアセンターかがやきは、中青木から西青木に移転し、リニューアルオープンしました。

玄関を入ると受付から細長い待合室です。1 階が医療、2 階がかがやきでデイケアと介護小規模多機能施設、3 階が事務室です。

家族丸ごと地域住民の健康や安心して暮らせる地域をとともに作るを実現するために、医療と介護の一体管理をめざす家庭医のいる診療所です。

正面玄関わきに「虹のテラス」があり、地域と事業所をつなぐ場所として組合員に活用されています。毎日昼休みに行っているカンファレンスは、医療スタッフと

かがやきのスタッフが参加し、患者さん、利用者さんの病状だけでなく様々な問題が話し合われ共有され、医療と介護が一体管理できる家庭医のいる診療所の役割を



揮できることが強みだし、訪問診療（往診）にも力を入れていると事務長は強調していました。さいわい診療所は昨年 70 周年を迎えました。

移転したこともあり、遠くなった患者さんには利用が困難になった人も。この患者さん達が継続して利用できるように、また医療と介護が一体となった診療所の強みを生かして新たな患者さんを迎えられるなあ・・・と思いながらです。

川口診療所

70周年 3階建てリニューアルオープン

～地域まるごと みんな一緒に暮らそうよ～

鈴木 智子

昨年8月にリニューアルした3階建ての新たな診療所は、子どもから高齢者の方まで家族まるごとかかりつけ医になれ、自身の心配事は勿論、家族の健康相談も、診療する「家庭医療」を実践する診療所です。

1階は、誰でも立ち寄れるコミュニティスペースで、毎月地域の人たちと協力した企画があります。12月のクリスマス会は「ベビーカフェ、子育ての悩みや産後の不安等を協同病院の助産師と語ろう!」の企画もあり好評でした。地域のベテラン組合員さん方も友人を誘ってお茶しようかの声も聞こえてきました。

2階は、診療所とケアセンターすこやかかの居宅支援事業所です。家庭医の資格をもつ2人の医師がリニューアルと同時に小児科の診察 乳児検診 予防接種を始めました。近隣には新しいマンションが建ち並び、子どもたちの姿も見られ若い世代の受診も増えてきました。診察時に困難事例を居宅に繋げたり一緒に問題解決出来る連携をとっています。

3階は、通所リハビリテーションと新たに小規模多機能施設が入りました。早速退院直後の日常生活動作が低下し独りで暮らすには危険な



A氏を施設で受け入れ通所リハビリに通いながらお泊まりして、生活リハビリに励み在宅に帰ったケースや、看取りの時期

が近づいているBさんを診療所と連携して施設で受け入れる事も行っています。

通所リハビリでは新たなマシンも取り入れリハビリを強化しています。

家庭医の存在が民医連本来の地域医療の姿と重なっています。

埼玉高齢者大会

時宜にかなった講演

川嶋 芳男

12月4日、第28回埼玉高齢者大会が川越駅近くのウエスタ川越で行われました。医療生協さいたまの本部職員らが要員となり参加者の受付等に奔走していました。



午前中に行われた記念講演では、元通産省官僚で岸田政権を痛烈に批判する古賀茂明氏が、豊富な経験と知見に裏打ちされた巧みな話術で、現在の日本が安倍政治のレガシーによって「戦争しなくては生きられない国へ」向かっているかと警鐘されました。元官僚らしく現役の官僚や政治家等との交友が広く、この日の講演で政治資金パーティー問題について「今後も検察庁は執念を持って摘発に動く」と断言されていました。確かにその後の推移はご承知の通り、時宜にかなった講演でした。

全日本民医連退職者の会

第10回全国経験交流集会 参加報告

小嶋 美智子

2023年10月18～19日 長野県戸倉温泉で開催され、30県連中18県連から52名の参加がありました。記念講演は「民医連70周年 医療・福祉のたたかい」と題して、全日本民医連岸本啓介事務局長が50分にわたり行いました。各県報告・自由討論では、どこの県も同じように高齢化や幹事のなり手に悩んでいました。埼玉からは「OB会を元気に楽しむためのアンケート」集約のまとめ（総会時の資料）を岡村事務局長が行いました。（全国ニュースを参照ください）最後に出来立てホヤホヤの津軽保健生協退職者の会40年誌が配布されました。開催地の長野にはOB会がまだ出来ていませんが「文化の旅」や懇親会など熱心にお世話していただきました。OB会が出来るのを楽しみにしています。



酒井てる江さんから
OB会に募金をいた
だきました。

全国経験交流集会には埼玉から小嶋美智子さんと全国幹事の岡村和夫さんが参加しました。全体の様子は全国ニュース11月25日号（今回の発送分）を参照ください。

OB会だより

感想意見



♪ 渋谷 菊男

毎回多くの会員の様子がわかって、とてもうれしいです。
行田のバックづくりは皆さん楽しく近所での集まりが見えるようです。小さい単位でも集まりが持てれば「なつかしい」「久しぶり」「会えてよかった」などの広がりが増えればいいと思います。OB会だよりの声の交流がとっても有難いです。

♪ 山形文子

皆さんの元気な近況を読むたびに感動しています。しばらく文章を書いていませんでした。やはり疲れがあったのかナーと思いました。

♪ 梅原 恭子

カラフルなカットも多く読みやすい記事 毎号ありがとうございます。
私の文（156号）のカットの猫ちゃんは、我が家のフテフテしい猫とは大ちがい。こんなかわいい奴ならと、つい心が乱れます。

♪ 前田 文代

「自分のこと」「家族のこと」「仲間の事」「地域の様子」「仕事をしている会員の話」「芸術」と内容が幅広く読みごたえがありました。

♪ 島田 喜久江

秩父で生まれ育った私は、自然の宝庫 長瀬 が好きで、とても素敵な場所だと思っています。紅葉の時期、赤く色づいたもみじやクヌギが荒川に映り楽しませてくれます。夕方になるとスポットライトを浴びた紅葉が幻想的な光景へと広がり別格なものになります。身近な所で心ホッとする長瀬ですね。

OB会だより 156号の表紙になり嬉しく拝見しています。



元日に最大震度7の能登半島地震が発生し、その後も余震が続くなど、厳しい年明けとなりましたが、皆さんお元気ですか。昨年見た映画、「君たちはどう生きるか」「土を喰らう 12カ条」「PERFECT DAYS」みんな共通したメッセージを感じました。

自分の人生は自分でよく考えて決めなさい、いやなものは自分の意志ではっきりNoと言いなさい、決めたものに向かって毎日をきちんと生きなさい、と言っています。1936年、チャップリンが「モダン・タイムス」で世界中の人々に「働きなさい、食べなさい、そして愛しなさい、力いっぱい生きなさい」と呼びかけたのと同じです。

この心を持ち続けたいと、90歳を迎える2024年の年頭に思いました。(k)

OB会のひろば



俳句

短歌

秋草 宮谷 忠

山つつじくづほれながら狂い咲き
木枯らしや置いてきぼりのわらぼっち
大豆干す狭間のかぜの通り道

田中 千エ子

働哭のガザ少年の目はうつろ
「百年」の一部に生きて冬の虹
盆栽の北限蜜柑温暖化

「布遊び」 藤田 悦子

片麻痺の友思いつつ介護服
思案しつつ縫い上げゆけり
幾本か息子のジーパン切り刻み
自肅の合間にマット作りぬ
エコバックプレゼント用にと作りつつ
海の汚染を止めるものかと

小嶋美智子

夏に
背を追い越され
冬に
足の大きさを越され
笑って体重は無理と孫

五行歌

卷田 幸子

痛みや不安
これも
生きていく通過点
と 自分に
言い聞かせる

川柳

栗原 和子

ネギ二本揃えて植えるなんてかな
ネギだって友達いると安心さ

「ご存知ですか

なぜネギは二本揃えて植えるか・・・
長い間「なぜ？」と思いながら植えてきまし
たが、近所のおばあちゃんに聞くと「ネギも
友達がいると安心なのよ」 何の躊躇もなく
即答のこの言葉に してやられたあゝ
ちよっとうれしかったので川柳に。

私の一枚



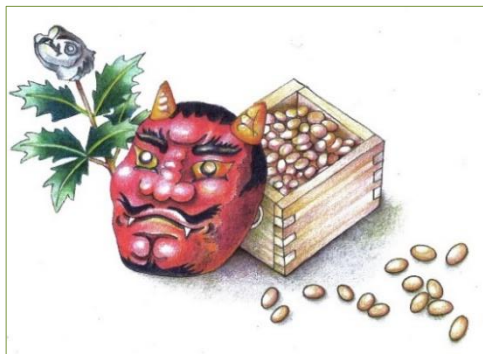
富田孝博



吉原恵美子



絵手紙 仲村敬子



ぬり絵 小川祥江



岡村和夫



石丸乾二



絵手紙 広瀬久子

ホームページをご覧ください。毎月更新しています

埼玉民医連退職者の会 検索

ホームページはこちらからも見れます。



埼玉民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内